

厚木基地騒音対策協議会による要請について

厚木基地の航空機騒音問題の解消に向けて、県及び厚木基地周辺 9 市の首長、議長等で構成する厚木基地騒音対策協議会（会長：黒岩祐治 神奈川県知事）が令和元年 11 月 5 日に開催され、翌 6 日、協議会として次のとおり要請活動を実施しましたので、お知らせいたします。

1 要請項目

厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等について

- (1) 空母艦載機着陸訓練を硫黄島で全面実施すること
- (2) 恒常的訓練施設を確保すること
- (3) 厚木基地の運用、騒音状況等についての情報提供を行うこと

2 要請先

内閣総理大臣、財務大臣、外務大臣、防衛大臣、駐日米国大使、在日米軍司令官
第 7 艦隊司令官、在日米海軍司令官、厚木航空施設司令官及び第 5 航空団司令官

3 要請結果概要

防衛省 (宮川均 地方調整課長)	<ul style="list-style-type: none">○ 着陸訓練については、出来る限り多くの訓練を硫黄島で実施するよう米側に求めており、引き続き、米側に理解と協力を求めていく。○ 恒久的な空母艦載機着陸訓練施設の確保については、馬毛島を候補地として選定し、早期の売買契約の締結に向け交渉を進めるとともに、米側との協議や自衛隊の具体的な利用計画の検討を行っている。FCLP施設の確保は、安全保障上の重要課題と考えており、早期に恒久的な施設を整備できるよう、引き続き取り組む。○ 国が厚木基地周辺に設置している騒音計 23 箇所の各箇所で、騒音測定データ、年間騒音発生回数を平成 28 年度と 30 年度で比較すると、測定できたすべての地点で騒音が減少している。○ 騒音状況の検証及び情報提供については、移駐前後を比較し、騒音が相当程度低減していることを確認しているが、今後も状況の把握・分析に努める。また、これらの結果については、必要に応じて地元自治体へ説明する。○ 住宅防音工事については、今後も所要の予算を確保し、可能な限り早期の実施に努めていく。○ 航空機による騒音は、周辺住民にとって深刻な問題であり、米側
---------------------	---

	<p>に対し、航空機騒音規制措置の遵守、年末年始や入学試験等、地元の重要な行事に配慮するよう申し入れるとともに、住宅防音工事などをはじめとする各種施策を通じて、周辺住民の負担を可能な限り軽減できるよう、引き続き最大限努力していく。</p>
<p>外務省 (川埜周 北米地位協定室長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 着陸訓練については、可能な限り硫黄島で実施するよう、機会をとらえてあらゆるレベルで米側に申し入れる。 ○ 恒常的訓練施設については、馬毛島を候補地として調整を進めているが、一刻も早く実現するよう、政府を挙げて取り組む。
<p>駐日米国大使館 (メリッサ・スウィーニー 安全保障政策課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 米軍の駐留は日本の安全保障、平和、地域の安定に貢献しており、地元自治体のサポートに感謝している。 ○ 大使館としても、米軍の駐留に特有の課題があることは理解しており、米軍人がよき隣人、強い同盟パートナーであるよう米軍のカウンターパートに働きかけている。また、米軍人は日米両国の安全を守るとともに地域の皆様への影響が最小限となるよう尽力している。 ○ 恒常的訓練施設の整備については、進展させることの重要性を理解しており、日本政府に対して働きかけている。